

復興応援団だより

グッドデザイン賞・マニフェスト大賞受賞

復興応援団は被災された方々の経験と知恵を紡ぎ、首都圏など他地域の防災減災につながる活動にも取り組んでいます。この活動で2つの賞を頂きました。

一つ目に、復興応援団と三菱地所レジデンス株式会社、Community Crossing Japan (CCJ)が共同で製作した『そなえるカルタ』が2015年度グッドデザイン賞に選ばれました。

意識を高められるという点で評価を頂きました。一つ目に、第10回マニフェスト大賞において、復興応援団とCCJが優秀復興支援・防災対策賞を受賞しました。マニフェスト大賞は、地方自治の現場で、よりよい社会づくりにつながる活動にスポットをあてること(東北学)を目的としています。都市防災において死角になりが

いて評価を頂きました。これらの賞は、被災された方々に頂いた栄誉だと思っております。今後も『語り部』として、大震災を越えてきた東北の叡智を語り継いでゆきます。



↑マニフェスト大賞受賞の様子

ちな避難活動に着目した先見性につ

2015.12/N043
発行元：
一般社団法人
復興応援団
代表：佐野哲史
広報チーム
0226-25-9897

東北大学祭

10月31日から3日間にわたって東北大学祭が開催されました。復興応援団もブースを設け3日間、約230人の方に来場して頂きました。

10月31日から3日間にわたって東北大学祭が開催されました。復興応援団もブースを設け3日間、約230人の方に来場して頂きました。

を紹介したビデオの上映などを行ないました。特に盛況だったのが南三陸町の砂を使ったアクセサリー作りの体験です。幅広い年齢層の方に体験して頂くことができました。



↑ブースの様子

復興応援団とは？

私たちは、「地元の方が主に立ち上げる大規模な復興活動」を三陸町と多賀城市で活動しています。南三陸町では、地元からの復興の担い手の元に全国からボランティアを派遣。復興のお手伝いを通じて南三陸の魅力に触れてもらい、中長期的に復興を支える「ファン」になってもらう取り組みをしています。多賀城市では、2012年4月より「復興応援団だより」を仮設住宅全戸にお届けするなど、住民のみなさんが中心となったコミュニケーションづくりを応援しています。そのような活動を通じて、地元の人自身が復興とまちづく

南三陸探検

復興応援団では、学生スタッフを中心と復興への理解を深めるため、月に一度「南三陸探検」を行なっています。11月7日の探検の目的は「ボランティアに被災被害を受けた場所に立って、震災当時の状況を把握するための取材」でした。いつもお世話になっている小野政道さん、高橋直哉さん、阿部民子さんの3人がそれぞれ震災直後の様子を写真に撮った場所に実際に立ち、その写真の様子を目の前で、その光景に重ね合わせるイメージしてみました。

私は復興応援団の活動で震災の爪痕を見て津波の怖さを知りました。しかし現在整備されている道路が陥没していたり、たくさん瓦礫が散らばった写真と同じ場所に行って見ると、未曾有の大震災が起きた」ということを今ままで最も実感させられました。今回の探検で震災への理解がより一層深まりました。この経験を、今後の活動に活かしていきたいです。



↑高橋直哉さんの話を聞くお話をフ



↑南三陸町で被災地の状況を学ぶ参加者



→多賀城市で復興応援団だよりを配布するスタッフ